

【問題】

次頁以下に掲げる文章は、重田園江『隔たりと政治 統治と連帯の思想』（青土社、二〇一八年、四七〜七一頁）に収められた文章である。
この文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

問一 傍線部(1)「ケトレによる平均人の発見、デュルケムによる社会の正常状態の発見が、福祉国家形成の重要な思想的・技術的基盤となった」とは、どういうことか。筆者の見解に即して、二五行以上、三五行以内で説明しなさい。

問二 傍線部(2)『『社会的リスク』をいかに負担するかについての、福祉国家とは別の考え方、制度のあり方』として、筆者はどのようなものを示しているか。それがどのような意味で「福祉国家とは別」であるかを明らかにしつつ、一五行以上、二五行以内で説明しなさい。